研究開発目標の策定等について（文部科学省案）

平成２８年６月３０日
第２回研究連携会議
資料２－１

1. 研究開発目標（案）

『世界の先を見据えた革新的な人工知能技術の開発及びこれらを活用した
サイエンスの革新と社会実装への挑戦』

研究重点方針（案）

産業界の研究開発を加速･事業化を誘発し、我が国に「稼げる仕組み」をつくるため、将来に向けた基礎理論を構築しながら、日本が強いテーマ（例：ものづくり、再生医療、材料分野等）を組み合わせた研究に力点を置いた研究開発を行う。

連携テーマ（案）

1．ものづくり･生産性
（含む産業保安）
2．健康･医療･介護
3．防災･防犯･情報セキュリティ
4．教育
5．モビリティ
6．インフラ
7．サイエンス
8．農業
9．スマートコミュニティ、
スマートハウス、エネルギー

※【資料４－１】社会的課題（概要･速報版）より

2. 国内外の研究動向の把握･分析

ＪＳＴ研究開発戦略センター（ＣＲＤＳ）/
ＮＥＤＯの本年度の研究において実施。

3. 研究インフラ整備

情報通信研究機構、理化学研究所、産業技術総合研究所の以下の状況の調査を実施する。（7月中に実施）

① AI研究に資する研究インフラで、３機関で整備予定の研究設備および現在有する研究設備等について
例：スパコン、テストベット、データ、スペース等（産業連携会議のデータ整備･提供＆オープンツールＴＦで扱うものを除く）
② 当該研究インフラの利用状況
③ 当該研究インフラを外部機関が利用する際の条件

4. 研究進捗のフォローアップ

（参考）各省で重点的に取り組んでいる研究領域

●総務省
･脳情報通信
･音声認識、多言語音声翻訳
･社会知解析
･革新的ネットワーク

●文部科学省
･基礎研究
･革新的な科学技術成果の創出
･次世代の萌芽的な基盤技術の創出
･大型計算機資源、人材育成

●経済産業省
･応用研究、実用化･社会への適用
･標準的評価手法等の共通基盤技術の整備
･標準化
･大規模目的研究